

分野	専門分野	科目名	地域・在宅看護総論
時間	45時間	開講時期	2年次（前期）
講師名	専任教員		
科目目標	1. 地域・在宅看護の現状を理解し、在宅看護を実践する看護師の役割について理解する。 2. 地域・在宅看護の対象とその家族について理解する。 3. 地域・在宅看護に関する諸制度について理解する。 4. 地域・在宅看護における多職種連携・多職種チームにおける協働について理解する。		
講義形態	①講義・演習		
実務経験教員による授業の概要	看護師の実務経験を持つ教員が、地域で療養する対象の看護と連携・協働について講義および演習する。		
講義内容			
1. 人々の暮らしと地域・在宅看護 2. 暮らしの基盤としての地域の理解 3. 地域・在宅看護の対象 4. 地域における暮らしを支える看護 5. 地域・在宅看護実践の場と連携 6. 地域・在宅看護にかかわる制度とその活用 7. 地域共生社会における多職種連携・多職種チームでの協働 8. 地域・在宅看護マネジメント 9. 地域・在宅看護活動の創造と展開例 10. 地域・在宅における時期別の看護			
【テキスト／参考文献】			
医学書院	系統看護学講座	専門分野	地域・在宅看護論[1] 地域・在宅看護の基礎
医学書院	系統看護学講座	専門分野	地域・在宅看護論[2] 地域・在宅看護の実践
【評価】			
学科試験	筆記；100点をもって満点、60点をもって合格とし、60点未満を不合格とする		